

「子育てあんしんの避難所」検討プロジェクトの報告

「子育てあんしんの避難所」検討プロジェクトでは、熊本地震における母子避難所開設時の周知の難しさなどを教訓に、災害時の子育て世代を支援する具体的な防災機能の強化について検討し、下記のように提案がまとまりました。

今後、この提案を踏まえ、日ごろから子育て世代に親しまれている「子育ての駅」に防災機能を付加し、長岡市としての防災力の強化を図ります。

1 プロジェクトメンバー

主任児童委員、母子保健推進員、助産師、多世代交流館になニーナ、長岡にこっとクラブ、中越防災安全推進機構、子育ての駅運営委員、長岡市社協、長岡市関係課（福祉総務課、健康課、男女共同参画推進室、危機管理防災本部、子ども家庭課）

2 検討内容

- | | | |
|-----|----------|--|
| 第1回 | 6月20日（月） | 「妊婦・乳児がいる場合の避難所のニーズについて」 |
| 第2回 | 8月29日（月） | 「それぞれの立場・役割でできること」 「子育ての安心の避難所で備えておきたい物資について」 |
| 第3回 | 9月29日（木） | 「来年度からの取り組みについて」 |

3 検討プロジェクトからの提案

- 妊産婦や乳児特有の物資（アレルギー対応離乳食や母乳パットなど）の備蓄
- 災害時においても妊産婦や子育て世代のニーズを専門職（助産師、保健師など）に相談できる体制の整備
- 平時から、関係者・機関との情報交換、連携強化

4 今後の取り組み

- ・年内に、すべての子育ての駅（13カ所）に、物資を配備
 - ・関係者情報交換会の開催
 - ・防災講座の開催
 - ・子育てあんしんの支援者の養成
- (例) 母子保健推進員や子育てコンシェルジュなどが、災害時の母子の心身の変化や対応の仕方を学び、身近なところで支援したり、必要時は専門職につないだりできる人を養成する。平時は、地域で子育て世代の防災知識の啓発活動できることを期待する。